

2012年11月7日

2013年3月期第2四半期決算の概要

東レ株式会社

A decorative graphic consisting of several overlapping, curved bands in various shades of green, sweeping from the bottom left towards the top right of the page.

目次

I. 2013年3月期第2四半期決算の概要

2013年3月期第2四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-16)
営業利益増減要因分析(第2四半期累計期間)	(P17)
主要子会社収益状況(第2四半期累計期間)	(P18)
セグメント別営業利益 1Qvs2Q比較	(P19)

II. 2013年3月期連結業績見通し

2013年3月期連結業績見通し	(P21)
セグメント別業績見通し	(P22)
セグメント別営業利益の前回見通しとの差異	(P23)
設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し	(P24)

I . 2013年3月期第2四半期決算の概要

2013年3月期第2四半期連結損益概要

億円

	12年3月期 第2四半期 (7~9月)	13年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	13年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上高	4,250	3,896	- 353 (-8.3%)	7,998	7,537	-461 (-5.8%)
売上原価	3,332	3,135	- 197 (-5.9%)	6,280	6,048	-231 (-3.7%)
売上総利益	918	761	- 156 (-17.0%)	1,718	1,489	-229 (-13.3%)
(売上高総利益率)	21.6%	19.5%	-2.1 ポイント	21.5%	19.8%	-1.7 ポイント
販売費及び 一般管理費	556	567	+11 (+2.0%)	1,084	1,122	+38 (+3.5%)
(売上高販管費比率)	13.1%	14.6%	+1.5 ポイント	13.6%	14.9%	+1.3 ポイント
営業利益	362	194	-167 (-46.3%)	634	367	-267 (-42.1%)
(売上高営業利益率)	8.5%	5.0%	-3.5 ポイント	7.9%	4.9%	-3.1 ポイント
営業外収支	3	▲ 5	-8	21	13	-7
経常利益	364	189	-175 (-48.0%)	655	380	-275 (-41.9%)
特別損益	▲ 24	▲ 42	-18	▲ 31	▲ 67	-37
税前利益	341	148	-193 (-56.7%)	624	313	-311 (-49.9%)
四半期純利益	223	99	-124 (-55.5%)	401	200	-201 (-50.1%)

	(12/3 2Q)	→	(13/3 2Q)	(12/3 2Q累計)	→	(13/3 2Q累計)
為替レート <円/US\$> 期中平均	77.9	→	78.6	79.8	→	79.4
期末	76.7	→	77.6			
<円/ユーロ> 期中平均	110.2	→	98.4	113.8	→	100.6
期末	104.1	→	100.2			
原油価格 <US\$/バレル> (DUBAI FOB) 期中平均	107.1	→	106.3	108.9	→	106.3

(注) 3月期決算会社は7~9月の業績、12月期決算会社は4~6月の業績を連結

営業外収支

億円

	12年3月期 第2四半期 (7~9月)	13年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	13年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
営業外収益	32	33	+1	77	75	-2
受取利息及び配当金	3	5	+2	17	19	+2
持分法による投資利益	18	16	-2	36	33	-3
雑収入	11	12	+2	24	22	-1
営業外費用	▲ 29	▲ 38	-9	▲ 56	▲ 61	-6
支払利息	▲ 14	▲ 14	+0	▲ 28	▲ 28	+0
雑損失	▲ 15	▲ 24	-9	▲ 27	▲ 33	-6
営業外収支	3	▲ 5	-8	21	13	-7
金融収支	▲ 11	▲ 9	+2	▲ 12	▲ 9	+3

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	12年3月期 第2四半期 (7~9月)	13年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	13年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
特別利益	1	0	-0	1	1	+0
有形固定資産売却益	0	0	-0	1	1	+1
投資有価証券売却益	0	0	-0	0	0	-0
特別損失	▲ 24	▲ 42	-18	▲ 32	▲ 69	-37
有形固定資産処分損	▲ 11	▲ 10	+2	▲ 14	▲ 14	+0
災害による損失	▲ 1	▲ 9	-8	▲ 4	▲ 18	-14
投資有価証券評価損	▲ 12	▲ 21	-9	▲ 13	▲ 35	-22
その他	▲ 0	▲ 2	-2	▲ 1	▲ 2	-1
ネット特別損益	▲ 24	▲ 42	-18	▲ 31	▲ 67	-37

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	12年3月末	12年9月末	増減
資産合計	15,815	16,028	+213
流動資産	7,262	7,475	+213
有形固定資産	5,619	5,747	+128
無形固定資産	426	417	-9
投資その他	2,507	2,389	-118

	12年3月末	12年9月末	増減
負債合計	9,074	9,204	+131
流動負債	5,158	4,939	-220
固定負債	3,915	4,266	+350
純資産合計	6,741	6,824	+82

有利子負債残高	4,819	5,241	+422
---------	-------	-------	------

D/Eレシオ	0.77	0.83	+0.06
--------	------	------	-------

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

億円

	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	13年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
営業活動	255	133	-122
投資活動	▲347	▲481	-134
フリー・キャッシュ・フロー	▲92	▲348	-256

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	13年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	特記事項
設備投資額	282	437	+155	東レ:127、連結子会社:311
減価償却費 ー)	327	311	-16	東レ:139、連結子会社:173
振替・除却等	44	2	-42	
有形固定資産増減	▲ 1	128	+129	
研究開発費	246	262	+16	

主な設備投資:

東レ:PPS(ポリフェニレンサルファイド)樹脂設備

TAK (Toray Advanced Materials Korea Inc.):炭素繊維設備

TAFK(Toray Advanced Film Kaohsiung Co., Ltd.):自己粘着性表面保護フィルム設備

セグメント別売上高・営業利益

億円

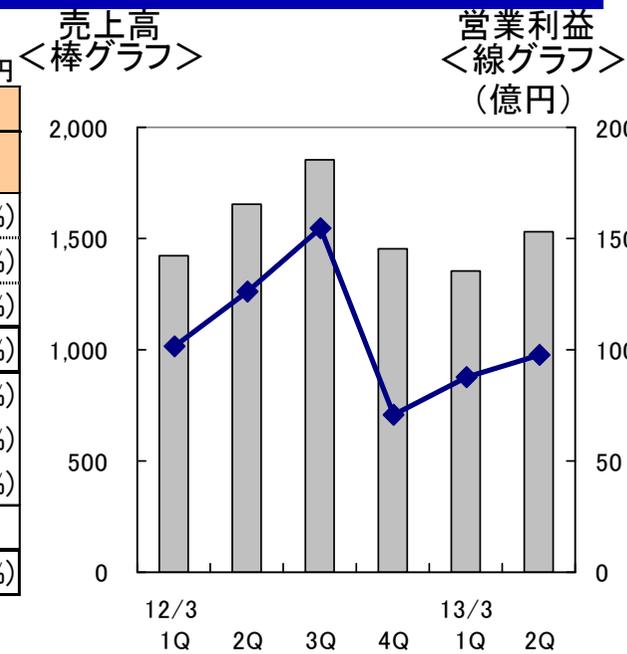
	売上高			営業利益		
	12年3月期 第2四半期 (7~9月)	13年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	12年3月期 第2四半期 (7~9月)	13年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減
繊維	1,652	1,531	-122 (-7.4%)	126	98	-28 (-22.2%)
プラスチック・ケミカル	1,035	977	-57 (-5.6%)	78	50	-27 (-35.3%)
情報通信材料・機器	658	631	-27 (-4.1%)	103	55	-48 (-46.6%)
炭素繊維複合材料	173	182	+8 (+4.8%)	23	20	-3 (-14.2%)
環境・エンジニアリング	551	397	-154 (-28.0%)	56	1	-55 (-98.7%)
ライセンス	144	139	-5 (-3.6%)	23	14	-9 (-38.7%)
その他	36	40	+4 (+11.3%)	4	4	+1 (+19.2%)
計	4,250	3,896	-353 (-8.3%)	412	242	-170 (-41.2%)
調整額				▲ 50	▲ 48	+2
連結	4,250	3,896	-353 (-8.3%)	362	194	-167 (-46.3%)

	売上高			営業利益		
	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	13年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	12年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	13年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
繊維	3,075	2,889	-186 (-6.1%)	227	185	-42 (-18.5%)
プラスチック・ケミカル	2,065	1,950	-115 (-5.6%)	164	105	-59 (-35.9%)
情報通信材料・機器	1,300	1,211	-89 (-6.9%)	197	96	-101 (-51.1%)
炭素繊維複合材料	363	365	+2 (+0.6%)	50	42	-8 (-16.8%)
環境・エンジニアリング	853	781	-71 (-8.4%)	42	▲ 0	-42 (-)
ライセンス	275	270	-5 (-1.8%)	42	30	-12 (-29.2%)
その他	67	71	+4 (+6.3%)	5	7	+2 (+38.0%)
計	7,998	7,537	-461 (-5.8%)	728	465	-263 (-36.1%)
調整額				▲ 94	▲ 98	-4
連結	7,998	7,537	-461 (-5.8%)	634	367	-267 (-42.1%)

セグメント別業績(繊維)

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)			
		12年 3月期	13年 3月期	増減	12年 3月期	13年 3月期	増減	
売上高	東レ	270	248	-22 (-8.2%)	532	506	-26 (-4.9%)	
	国内	836	772	-64 (-7.6%)	1,504	1,405	-99 (-6.6%)	
	海外	546	510	-36 (-6.5%)	1,039	977	-62 (-5.9%)	
	計	1,652	1,531	-122 (-7.4%)	3,075	2,889	-186 (-6.1%)	
営業利益	東レ	32	32	-0 (-0.8%)	66	72	+6 (+8.3%)	
	国内	31	27	-4 (-13.2%)	50	47	-2 (-4.7%)	
	海外	70	50	-20 (-28.3%)	131	80	-51 (-38.8%)	
	修正	▲ 8	▲ 11	-4	▲ 19	▲ 13	+6	
	計	126	98	-28 (-22.2%)	227	185	-42 (-18.5%)	



2Q(7~9月)

- 国内** : 衣料用途は、機能性インナー用途は堅調に推移したものの、景気後退の影響などにより全般的に需要は低調に推移。産業用途は、自動車メーカーの生産拡大に伴い、エアバッグ向け等が堅調に推移。
- 海外** : 欧米景気および中国内需の減速の影響を受けてアジア地域の需要が低調に推移したが、第1四半期に比べて、昨年発生したタイの洪水の影響は減少。

2Q累計 (4~9月)

国内では、産業用途は自動車メーカーの生産拡大に伴って自動車関連用途向けの販売が伸長するなど堅調に推移したが、衣料用途は春先の天候不順や景気後退の影響などにより需要は弱含みで推移。海外では、欧米景気および中国内需の減速の影響を受けてアジア地域の需要が低調に推移したことに加え、前年度に引き続きタイの洪水の影響が生産・販売面で残った。

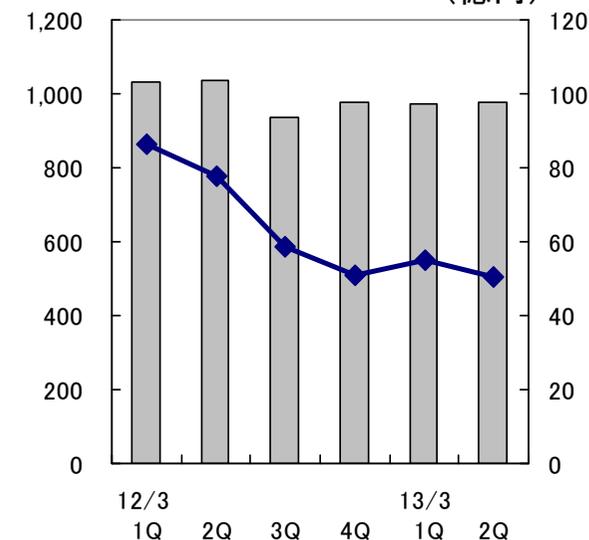
セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

単位: 億円

売上高
〈棒グラフ〉

営業利益
〈線グラフ〉
(億円)

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		12年 3月期	13年 3月期	増減	12年 3月期	13年 3月期	増減
売上高	東レ	208	186	-21 (-10.2%)	391	372	-20 (-5.0%)
	国内	369	329	-40 (-10.8%)	743	672	-71 (-9.6%)
	海外	458	462	+4 (+0.8%)	930	906	-24 (-2.6%)
	計	1,035	977	-57 (-5.6%)	2,065	1,950	-115 (-5.6%)
営業利益	東レ	11	1	-10 (-87.6%)	22	10	-12 (-54.0%)
	国内	24	16	-8 (-34.1%)	54	34	-20 (-36.3%)
	海外	40	33	-7 (-18.3%)	87	58	-29 (-33.6%)
	修正	2	0	-2	1	3	+2
	計	78	50	-27 (-35.3%)	164	105	-59 (-35.9%)



2Q(7~9月)

- 樹脂 :** 国内を中心に、自動車メーカーの生産拡大に伴ってエンジニアリング・プラスチックの自動車関連用途への販売量が伸長。海外では、欧米経済の低迷、中国内需の停滞に伴い、汎用ABS樹脂の荷動きは低調に推移したが、高付加価値品の拡販を推進。
- フィルム:** 世界的な景気低迷などの影響により国内外で需要が低調に推移するとともに価格競争の激化が継続。
- ケミカル:** 全般的に価格低下の影響を受けた。

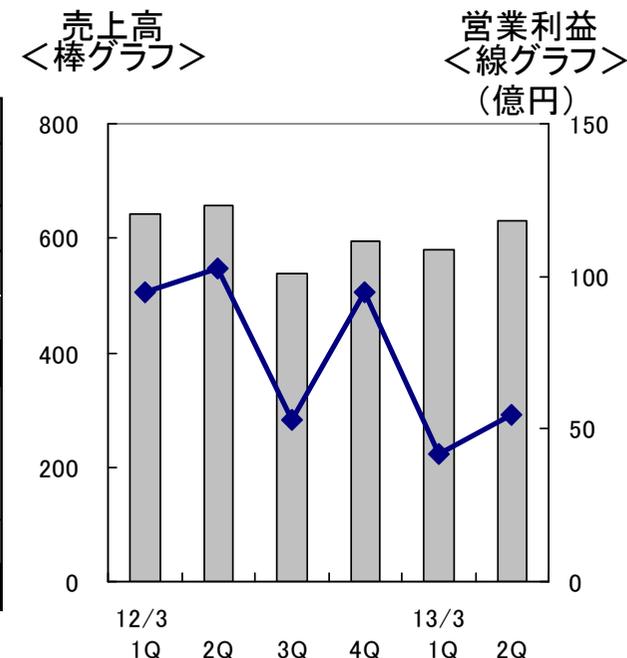
2Q累計 (4~9月)

樹脂事業は、国内を中心に自動車メーカーの生産拡大に伴ってエンジニアリング・プラスチックの自動車関連用途への販売量が伸長。海外では、中国市場の停滞により、汎用ABS樹脂の荷動きは低調に推移したが、樹脂コンパウンドなど米国自動車用途向けの販売は拡大。フィルム事業は、世界的な景気低迷などの影響により国内外で需要が低調に推移するとともに価格競争の激化が継続。

セグメント別業績(情報通信材料・機器)

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		12年 3月期	13年 3月期	増減	12年 3月期	13年 3月期	増減
売上高	東レ	276	257	-18 (-6.6%)	551	463	-88 (-15.9%)
	国内	187	182	-5 (-2.6%)	375	388	+13 (+3.4%)
	海外	195	192	-4 (-1.9%)	375	361	-14 (-3.8%)
	計	658	631	-27 (-4.1%)	1,300	1,211	-89 (-6.9%)
営業利益	東レ	70	33	-38 (-53.5%)	131	60	-70 (-53.8%)
	国内	8	10	+2 (+26.4%)	20	24	+4 (+22.2%)
	海外	25	21	-4 (-16.6%)	47	35	-13 (-27.1%)
	修正	▲ 1	▲ 9	-8	▲ 1	▲ 22	-22
	計	103	55	-48 (-46.6%)	197	96	-101 (-51.1%)



2Q(7~9月)

大型液晶パネル関連材料は、緩やかな回復基調となったが、薄型テレビ市場の低迷により前年同期の水準には至らず、価格競争も激化。中・小型ディスプレイ関連部材は、スマートフォン関連材料など一部を除き総じて低調に推移し、競合激化による販売価格下落の影響を受けた。

2Q累計 (4~9月)

薄型テレビ市場の低迷による液晶パネルの生産調整はほぼ終了し回復傾向にあるものの、フィルム及びフィルム加工品をはじめ薄型テレビ関連製品は前年同期の水準までの回復には至らず、価格競争も激化。中・小型ディスプレイ関連部材は、スマートフォン関連材料など一部を除き総じて低調に推移。

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

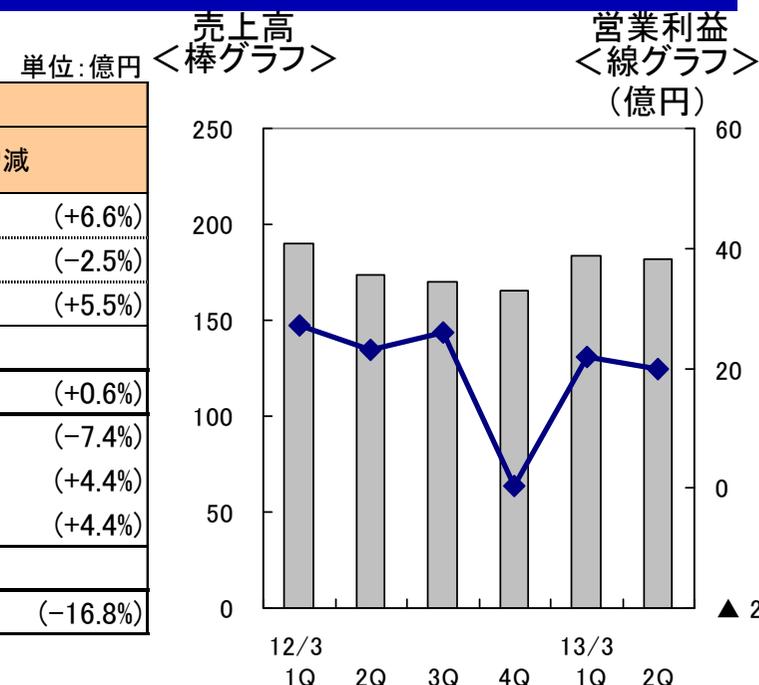
	12／3期第2四半期 (7～9月)		13／3期第2四半期 (7～9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	248	38%	206	33%	-17%
電子部品・半導体・回路材料	235	36%	251	40%	+7%
記録材料	84	13%	78	12%	-7%
機器他	90	14%	96	15%	+6%
情報通信材料・機器セグメント合計	658		631		-4%

	12／3期第2四半期累計 (4～9月)		13／3期第2四半期累計 (4～9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	505	39%	404	33%	-20%
電子部品・半導体・回路材料	459	35%	480	40%	+5%
記録材料	165	13%	160	13%	-3%
機器他	172	13%	167	14%	-2%
情報通信材料・機器セグメント合計	1,300		1,211		-7%

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

単位:億円

		2Q(7~9月)				2Q累計(4~9月)			
		12年 3月期	13年 3月期	増減		12年 3月期	13年 3月期	増減	
売上高	東レ	147	155	+8	(+5.6%)	287	305	+19	(+6.6%)
	国内	107	103	-4	(-3.3%)	216	210	-5	(-2.5%)
	海外	137	158	+21	(+15.3%)	280	295	+15	(+5.5%)
	修正	▲ 217	▲ 234	-17		▲ 419	▲ 445	-26	
	計	173	182	+8	(+4.8%)	363	365	+2	(+0.6%)
営業利益	東レ	14	12	-2	(-17.1%)	28	26	-2	(-7.4%)
	国内	1	1	-0	(-7.6%)	2	2	+0	(+4.4%)
	海外	11	10	-1	(-10.2%)	22	23	+1	(+4.4%)
	修正	▲ 3	▲ 3	+0		▲ 2	▲ 9	-7	
	計	23	20	-3	(-14.2%)	50	42	-8	(-16.8%)



本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

2Q(7~9月)

航空宇宙用途や圧縮天然ガスタンク等の環境・エネルギー関連用途は好調に推移したものの、スポーツ用途は、アジアにおける需要回復の遅れから低調に推移。アジア向けの一部汎用用途では、価格競争が激化。

2Q累計 (4~9月)

航空機需要の拡大、圧縮天然ガスタンクなど環境・エネルギー関連需要の拡大が進む中で、航空宇宙用途、一般産業用途への拡販を推進。スポーツ用途については、国内外での景気低迷の影響を受けて市場の回復が遅れ、価格競争が激化。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

	12 / 3期第2四半期 (7~9月)		13 / 3期第2四半期 (7~9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	62	36%	77	42%	+25%
スポーツ	33	19%	26	14%	-23%
一般産業	78	45%	79	44%	+1%
炭素繊維計	173		182		+5%

	12 / 3期第2四半期累計 (4~9月)		13 / 3期第2四半期累計 (4~9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	131	36%	154	42%	+17%
スポーツ	73	20%	55	15%	-25%
一般産業	159	44%	156	43%	-2%
炭素繊維計	363		365		+1%

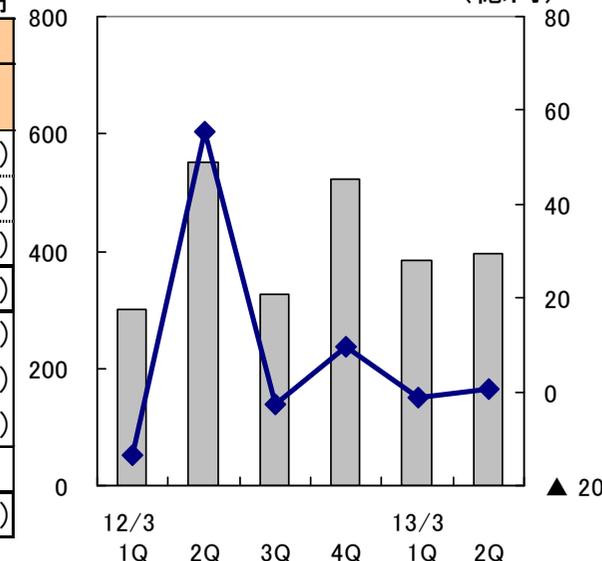
セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

単位: 億円

		2Q(7~9月)				2Q累計(4~9月)			
		12年 3月期	13年 3月期	増減		12年 3月期	13年 3月期	増減	
売上高	東レ	18	19	+1	(+6.9%)	32	35	+3	(+8.4%)
	国内	522	363	-159	(-30.4%)	796	723	-73	(-9.2%)
	海外	12	15	+3	(+23.6%)	25	24	-1	(-2.8%)
	計	551	397	-154	(-28.0%)	853	781	-71	(-8.4%)
営業損益	東レ	▲ 10	▲ 7	+3	(-)	▲ 17	▲ 14	+3	(-)
	国内	46	8	-37	(-81.3%)	41	14	-27	(-65.8%)
	海外	▲ 1	▲ 1	-1	(-)	▲ 2	▲ 2	-0	(-)
	修正	21	0	-20		20	2	-18	
	計	56	1	-55	(-98.7%)	42	▲ 0	-42	(-)



2Q(7~9月)

水処理事業 : 水処理膜事業は、逆浸透膜の大型案件の受注獲得や中国での拡販を推進。

国内 : 建設・不動産子会社の大型物件の完成が、前年同期に集中したのに対し、当期は例年の水準に戻った。エンジニアリング子会社は、産業機器の販売が低調に推移。

2Q累計 (4~9月)

東レ本体の水処理膜事業においては、主要な市場である欧米、中東、中国などの需要は低調に推移したが、逆浸透膜をはじめ各種水処理膜の受注活動を世界各地で推進。国内子会社では、水処理エンジニアリング子会社の業績は堅調に推移したが、建設・不動産子会社の完成案件は前年同期に比べて減少した。

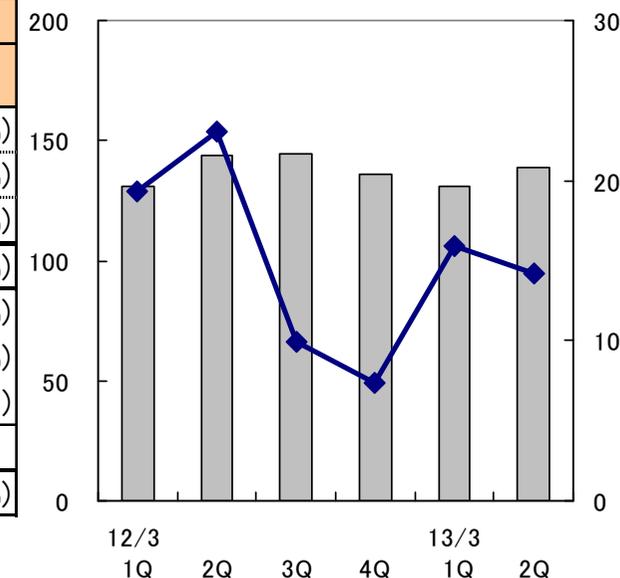
セグメント別業績(ライフサイエンス)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		12年 3月期	13年 3月期	増減	12年 3月期	13年 3月期	増減
売上高	東レ	44	36	-9 (-19.4%)	87	74	-13 (-15.2%)
	国内	96	101	+5 (+5.3%)	181	192	+12 (+6.4%)
	海外	4	2	-2 (-39.8%)	8	4	-3 (-43.1%)
	計	144	139	-5 (-3.6%)	275	270	-5 (-1.8%)
営業利益	東レ	18	9	-9 (-49.4%)	35	26	-9 (-26.5%)
	国内	6	6	+0 (+6.7%)	7	8	+1 (+8.1%)
	海外	0	▲0	-1 (-)	0	▲1	-1 (-)
	修正	▲1	▲1	-0	0	▲3	-3
	計	23	14	-9 (-38.7%)	42	30	-12 (-29.2%)



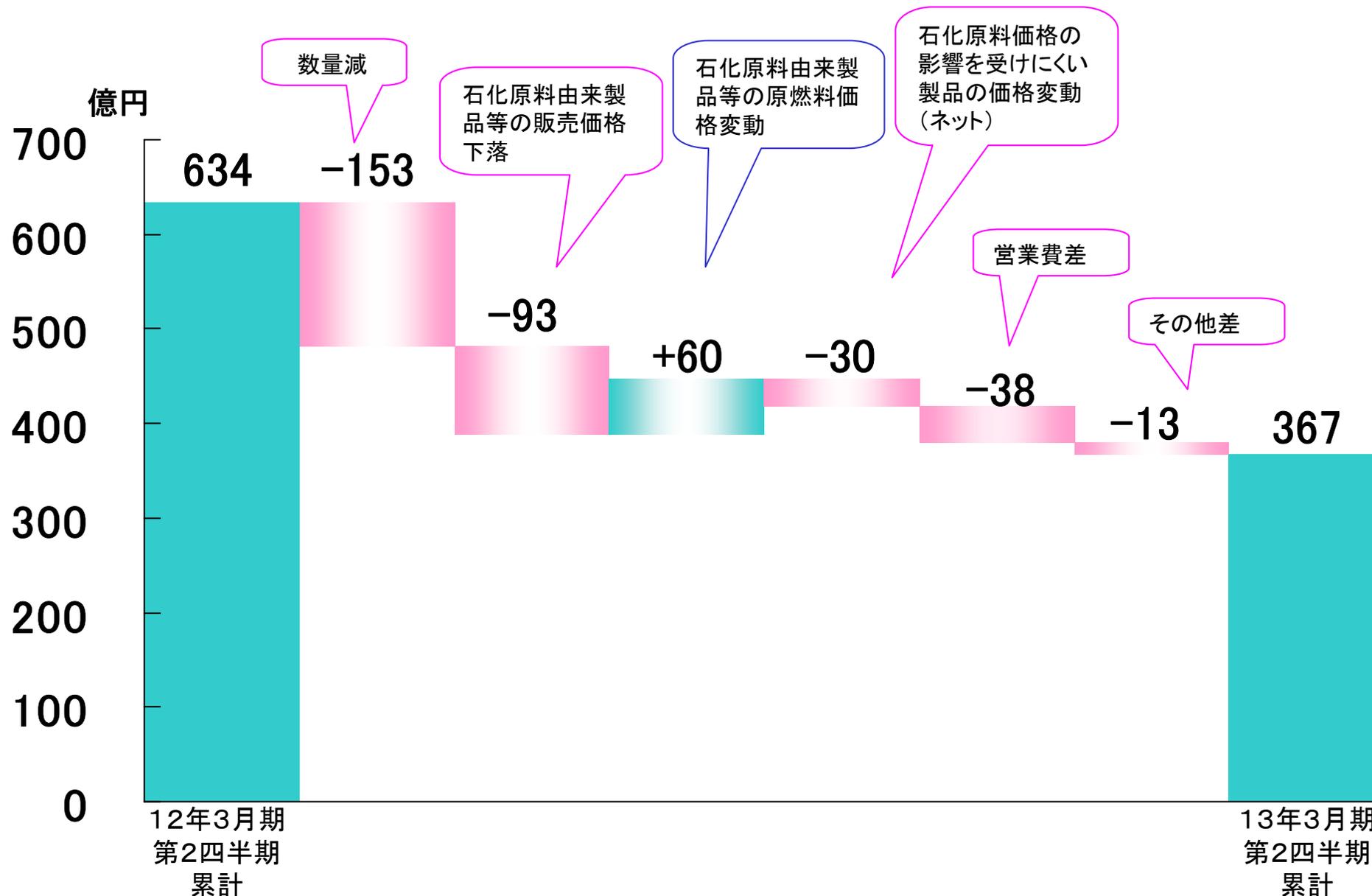
2Q(7~9月)

医療材については、ポリスルホン膜人工腎臓トレライト® NVなどの販売が順調に拡大したが、医薬品については、競合激化に加え、本年4月の薬価改定による販売価格低下の影響もあった。

2Q累計 (4~9月)

医療材については、ポリスルホン膜人工腎臓トレライト® NVや吸着型血液浄化用浄化器トレミキシン® などの販売が順調に拡大したが、医薬品については、競合激化に加え、本年4月の薬価改定による販売価格低下の影響もあった。

営業利益増減要因分析(第2四半期累計期間)



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社収益状況(第2四半期累計期間)

億円

	売上高			営業利益		
	12年3月期 第2四半期累計 実績(4~9月)	13年3月期 第2四半期累計 実績(4~9月)	増減	12年3月期 第2四半期累計 実績(4~9月)	13年3月期 第2四半期累計 実績(4~9月)	増減
東レインターナショナル	2,286	2,127	-158	39	43	+4
東レエンジニアリング	393	401	+8	16	▲3	-18
東レ建設	309	204	-105	29	5	-24
東レフィルム加工	247	237	-10	18	12	-6
東レ・メディカル	182	196	+14	7	8	+1
TAK(韓国)	487	461	-26	83	62	-21
TPM(マレーシア)	318	297	-20	5	8	+3
在東南アジア・子会社 * 1						
繊維	520	439	-81	48	▲2	-50
プラスチック・ケミカル	384	347	-37	24	20	-3
その他	33	41	+8	2	2	-0
計	937	827	-110	74	20	-54
在中国・子会社 * 2						
繊維	495	526	+31	45	51	+6
プラスチック・ケミカル	277	274	-3	5	3	-3
その他	51	60	+9	0	▲4	-4
計	822	860	+38	51	50	-1
在外・フィルム子会社 * 3						
プラスチック・ケミカル	452	397	-55	70	40	-30
情報通信材料・機器	252	246	-6	45	37	-8
計	704	643	-61	115	77	-38

* 1: ITS、ETX、Istem、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM 単純合計

* 2: TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、THK-G、TPCH-G、RKH/RKZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ、TFCC 単純合計

* 3: TAK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK 単純合計

セグメント別営業利益 1Qvs2Q比較

億円

セグメント	営業利益 13年3月期1Q→ 13年3月期2Q ()内差異	増減益要因
繊維	87→98 (+10)	<ul style="list-style-type: none"> 機能性インナーウェア等の縫製品の出荷が増加 タイの繊維子会社は、タイの洪水の影響が減少
プラスチック ・ケミカル	55→50 (-5)	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂事業は、自動車メーカーの生産拡大に伴い、自動車関連用途が堅調に推移 ケミカル事業は、東レおよび国内子会社のケミカル製品が、需要減少や価格低迷により低調に推移
情報通信材料 ・機器	42→55 (+13)	<ul style="list-style-type: none"> FPD関連材料は、液晶パネルの稼働回復に伴い復調
炭素繊維 複合材料	22→20 (-2)	<ul style="list-style-type: none"> 航空宇宙用途、一般産業用途は堅調に推移したが、アジア向けスポーツ用途は市場の回復が遅れ、価格競争が激化
環境・エンジニアリング	▲1→1 (+2)	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ1Q並みに推移
ライフサイエンス	16→14 (-2)	<ul style="list-style-type: none"> 販売は堅調も、医薬関係の費用が増加
その他	2→4 (+2)	
調整額	▲50→▲48 (+2)	
連結	173→194 (+22)	

Ⅱ. 2013年3月期連結業績見通し

2013年3月期連結業績見通し

億円

		12年3月期 実績	13年3月期 今回見通し	対前年同期比 増減		前回見通し	前回見通し との差異
売上高	上期	7,998	7,537	-461	(-5.8%)	7,900	-363
	下期	7,888	8,713	+825	(+10.5%)	9,400	-687
	通期	15,886	16,250	+364	(+2.3%)	17,300	-1,050
営業利益	上期	634	367	-267	(-42.1%)	400	-33
	下期	443	533	+90	(+20.3%)	750	-217
	通期	1,077	900	-177	(-16.5%)	1,150	-250
経常利益	上期	655	380	-275	(-41.9%)	390	-10
	下期	443	530	+86	(+19.4%)	750	-220
	通期	1,098	910	-188	(-17.2%)	1,140	-230
当期純利益	上期	401	200	-201	(-50.1%)	210	-10
	下期	241	300	+59	(+24.3%)	450	-150
	通期	642	500	-142	(-22.1%)	660	-160

1株当たり 当期純利益	上期	24.6円	12.3円
	下期	14.8円	18.4円
	通期	39.4円	30.7円
1株当たり 配当金	上期	5.0円	5.0円
	下期	5.0円	5.0円
	通期	10.0円	10.0円

備考： 為替レート的前提は、79円/US\$ (10月以降)
原油価格見通しは、112.5US\$/B
(DUBAI FOB) (10月以降)

セグメント別業績見通し (売上高／営業利益)

億円

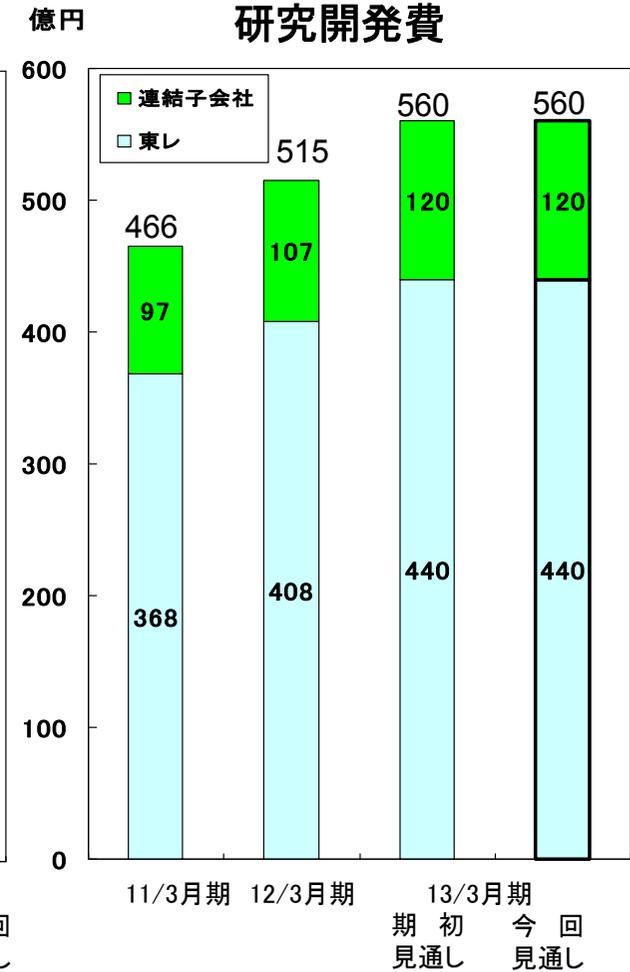
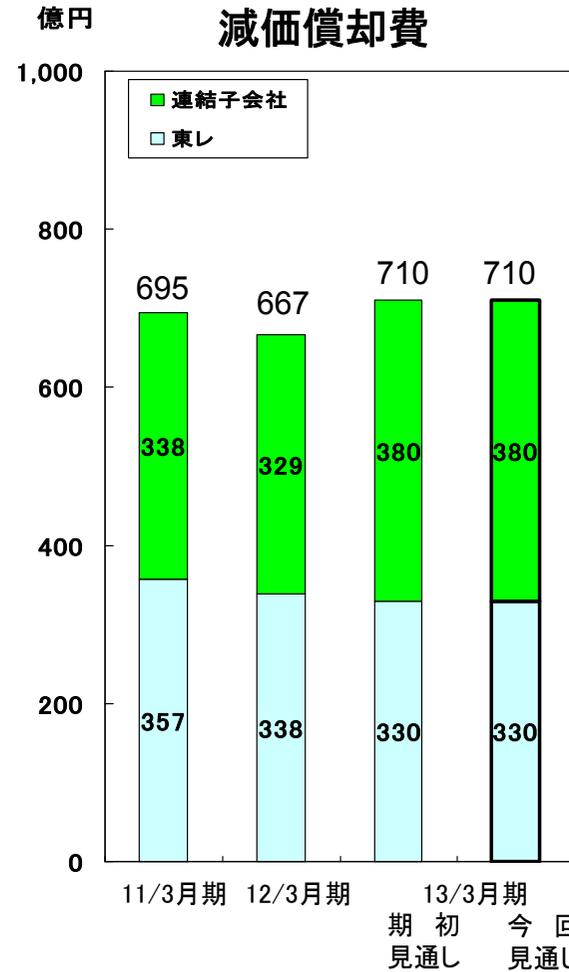
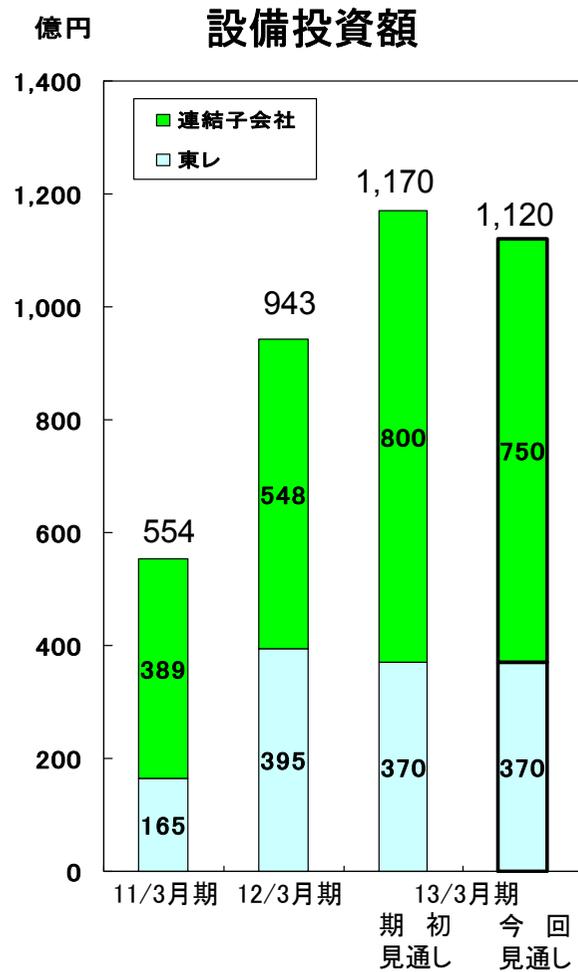
	12年3月期			13年3月期			対前年同期比増減			13年3月期 前回見通しとの差異			
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期見通し	通期見通し	上期実績	下期見通し	通期見通し	上期実績	下期見通し	通期見通し	
売上高	繊維	3,075	3,309	6,384	2,889	3,461	6,350	-186	+153	-34	-211	-239	-450
	プラスチック・ケミカル	2,065	1,914	3,978	1,950	2,000	3,950	-115	+87	-28	-150	-200	-350
	情報通信材料・機器	1,300	1,134	2,434	1,211	1,289	2,500	-89	+155	+66	+11	-211	-200
	炭素繊維複合材料	363	336	699	365	435	800	+2	+99	+101	-35	-65	-100
	環境・エンジニアリング	853	850	1,702	781	1,119	1,900	-71	+269	+198	+31	+19	+50
	ライセンス	275	280	556	270	330	600	-5	+49	+44	-10	+10	-
	その他	67	66	133	71	79	150	+4	+13	+17	+1	-1	-
	連結	7,998	7,888	15,886	7,537	8,713	16,250	-461	+825	+364	-363	-687	-1,050
営業利益	繊維	227	226	453	185	255	440	-42	+29	-13	-5	-45	-50
	プラスチック・ケミカル	164	110	274	105	95	200	-59	-15	-74	-15	-55	-70
	情報通信材料・機器	197	148	345	96	134	230	-101	-14	-115	-4	-76	-80
	炭素繊維複合材料	50	26	77	42	48	90	-8	+22	+13	-8	-22	-30
	環境・エンジニアリング	42	7	49	▲ 0	40	40	-42	+33	-9	-0	-20	-20
	ライセンス	42	17	60	30	40	70	-12	+23	+10	+5	-5	-
	その他	5	9	13	7	14	20	+2	+5	+7	-4	+4	-
	調整額	▲ 94	▲ 99	▲ 194	▲ 98	▲ 92	▲ 190	-4	+8	+4	-3	+3	-
連結	634	443	1,077	367	533	900	-267	+90	-177	-33	-217	-250	

セグメント別営業利益の前回見通しとの差異

億円

セグメント	通期営業利益 前回見通し→ 今回見通し ()内差異	増減益要因
繊維	490→440 (-50)	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料用途は、世界的な景気減速の影響を受け、全般的に低調に推移する見込み ・縫製品事業は堅調な推移を見込む ・自動車関連用途は、エコカー補助金終了の反動による内需減少や中国での日系自動車需要の減速等不透明感が強まる
プラスチック ・ケミカル	270→200 (-70)	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルムは、世界的な景気低迷等により、需要が低調に推移するとともに、価格競争の激化を見込む ・樹脂は、自動車用途がエコカー補助金終了の反動による内需減少や中国での日系自動車需要の減速等不透明感が強まる
情報通信材料 ・機器	310→230 (-80)	<ul style="list-style-type: none"> ・大型液晶パネルメーカーの生産状況は緩やかに回復しているが、最終顧客での在庫調整懸念もあり、関連材料の販売は、前回見通しほどは拡大しない見通し
炭素繊維 複合材料	120→90 (-30)	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機用途や圧縮天然ガスタンク等環境・エネルギー関連が堅調に推移する見込み ・アジアを中心に汎用品の需要が調整局面に入り、価格反転に時間がかかる見込み
環境 ・エンジニアリング	60→40 (-20)	<ul style="list-style-type: none"> ・水処理事業は、世界経済減速の影響を受け低調な推移を見込む ・エンジニアリング子会社は、国内外の景気低迷の影響を受け低調な推移を見込む
ライフサイエンス	70→70 (±0)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回見通しどおり
その他	20→20 (±0)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回見通しどおり
調整額	▲190→▲190 (±0)	
連結	1,150→900 (-250)	

設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し



本資料中の2013年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。